

横浜 F・マリノスの試合において、誰もがサッカー観戦を楽しめる空間 「いちご presents フレンドリールーム」を 2025 シーズンも設置

当社は、人々の豊かな暮らしを支える「サステナブルインフラ企業」です。

当社は、2019 年から、「地域に根差したスポーツクラブ」を目指し、スポーツ振興に留まらず、地域と一緒に街をつくることを理念として掲げる、Jリーグのトップパートナーとして、共に地域の活性化に取り組んでおります。

当社は、Jリーグに加盟する横浜 F・マリノスのホームゲーム会場「日産スタジアムテラスボックス席」を活用し、「いちご presents フレンドリールーム」として、個室での観戦を必要とするお客様に提供させていただく取り組みを、2023 シーズンおよび 2024 シーズンにおいて、計 7 回実施させていただきました。本取り組みに対しご好評をいただき、サポーターの皆さまからも続けて欲しいとの声を多くいただいたことから 2025 シーズンにおいては、全 4 回実施を予定しています。



今シーズン第 1 回目となる「いちご presents フレンドリールーム」を 6 月 21 日（土）に行われた横浜 F・マリノス vs ファジアーノ岡山戦において、実施いたしましたのでお知らせいたします。

フレンドリールームは、大きな音や照明を苦手とする知覚感覚過敏の症状や障がいがある方ははじめ、ご病気や様々なご事情により一般席での観戦が困難な皆さまが安心してサッカー観戦を楽しめる部屋です。

一般席での観戦を断念せざるを得ない皆さまがいらっしゃる現状を踏まえ、誰もが気兼ねする

ことなく Jリーグを観戦してもらいたいという想いから、「いちご presents フレンドリールーム」を提供させていただきました。

「いちご presents フレンドリールーム」には、落ち着いて過ごしていただきながらチームの応援を心から楽しんでいただけるよう、パラリンアートの絵画や、横浜 F・マリノスのキャラクターのぬいぐるみやユニフォームなどで装飾しました。

一昨年から本取り組みを実施しており、これまで多くのご希望をいただいておりますが、横浜こどもホスピスより 1 組のご家族をお招きし、観戦をお楽しみいただきました。



■ 参加ご家族からのコメント

お子さま

初めてのサッカー観戦で迫力のある試合が観れました！守りの時にハラハラしたり、攻めの時のゴール前プレーにドキドキしました。試合の後も、サインをしてくれたり、優しく声をかけてくれたりして、とても嬉しかったです！

スタッフの皆さんへ

僕のために、たくさん準備してくれて、ありがとうございます！また、招待して欲しいです。

お母さま

病気をしてから、スポーツとは離れた生活を送っていました。

テレビで、スポーツの試合を観ても興味を示す事はありませんでした。

そんな息子が、初めてのサッカー観戦で、90分しっかりと応援し、また観に行きたい！と興奮し

ている姿をみることができました。生の選手たちのプレーを見て、サッカーって、こんなに激しいんだね！と目をキラキラさせています。

自宅に戻ってからも、自分からマリノスの選手を調べたりしています。

病気と闘っている子供たちは、色々な事に消極的になることが多いなと感じています。スポーツも制限される事が多く、友達と体を動かして、一緒に楽しむ機会も少ないです。今回のイベントで、スポーツの楽しさや、心の豊かさが育ち、色々な事にチャレンジできる勇気をもらえたと感じています。

スタッフの皆さまの温かい声かけ、たくさんのプレゼント、本当に感謝の気持ちで一杯です。これからも、ずっと応援しています！

当社は、横浜市や横須賀市にホテルや商業施設等を保有、運営しており、横浜市、横須賀市、大和市をホームタウンとし活動する横浜 F・マリノスの社会連携活動との親和性が高く、横浜 F・マリノスとともに、さまざまな取り組みを行っております。

当社は横浜 F・マリノスと共に、今後もみんなが手を取り合う豊かな地域社会の創出を目指し、スポーツを楽しむ喜びと運動の機会を提供してまいります。

※ **本リリースに関するお問合せ先** **いちご広報担当 03-4485-5515**

以 上